



校訓 「自立 協同 創造」
校是 「生きるとは 分かちあうこと」

養父市立養父中学校 学校だより
(令和7年5月16日) 第7号

学校教育目標「しなやかな強さを持ち 協働的・創造的に活動できる生徒の育成」

道徳科の授業

養父中学校ホームページの「トピックス」において、幾度か道徳科の授業の様子を紹介していますが、ご覧いただいたでしょうか。すでにお伝えしておりますように、道徳科は、平成29年に「特別の教科 道徳」として教科化され、年間35回の授業を行った上で、生徒の道徳性に係る成長の様子を評価していくことが学習指導要領(文部科学省)で定められました。その背景には、全国的に深刻化する「いじめ問題」があり、道徳教育の充実を図ることによって、生徒の「心(道徳性)」を育てていくことが国を挙げての大きな課題となっているのです。さて、その道徳科の授業ですが、学習指導要領では以下の事項を扱うこととされています。



A 主として自分自身に関すること

- (1) 自主、自律、自由と責任 (2) 節度、節制 (3) 向上心、個性の伸長 (4) 希望と勇気、克己と強い意志
(5) 真理の探究、創造

B 主として人との関わりに関すること

- (6) 思いやり、感謝 (7) 礼儀 (8) 友情、信頼 (9) 相互理解、寛容



C 主として集団や社会との関わりに関すること

- (10) 遵法精神、公德心 (11) 公正、公平、社会正義 (12) 社会参画、公共の精神 (13) 勤労
(14) 家族愛、家庭生活の充実 (15) よりよい学校生活、集団生活の充実
(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 (17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度
(18) 国際理解、国際貢献

D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

- (19) 生命の尊さ (20) 自然愛護 (21) 感動、畏敬の念 (22) よりよく生きる喜び

以上の事項を正式には「内容項目」と呼び、年間35回の授業でそれぞれを1回ないし2回程度扱います。一般的には読み物資料を用いて授業を展開するのが主流で、主人公の姿に自分自身を投影しながら「内容項目」について生徒に深く考えさせ、クラスメイトとの議論を促します。そして、生徒自身がそれぞれの「内容項目」について自発的にその価値を見出すように教師が働きかけます。そのことを「道徳的価値の自覚」と呼び、それを目標にして教師は研修し、授業づくりをします。要するに道徳科の授業は、教師の価値観を生徒に押しつけるものではなく、あくまでも生徒の自発的な成長を促すものなのです。

さて、生徒の「心(道徳性)」を育てていくことが国を挙げての大きな課題であると前述しましたが、道徳科における「心(道徳性)」とは、以下のとおりです。

心(道德性)

道徳的心情・・・善を行うことを喜び、悪を憎む感情

道徳的判断力・・・善悪を判断する能力

道徳的実践意欲と態度・・・道徳的価値を実現しようとする意欲

ご覧いただいておりますように、いずれも人間が人間として生きていく上で極めて重要なものばかりではありますが、残念ながら、私たちの目に見えない、もしくは、見えにくいものばかりです。つまり、道徳科の授業は、教師にとって見えないものを、ただひたすら粘り強く育てていく時間でもあるということになります。

いっぽうで、道徳教育はあくまでも家庭が主になって行うものであり、学校はそれを補完する立場であるとも言われています。子どもの人格形成に一番大きな影響を与えているのはまぎれもなく親であることを念頭に置いていただき、お示した「内容項目」について、各ご家庭で親子が議論する機会を作ってみるというのも大



兵庫県版道徳教育副読本

5月生徒集会

5月12日(月)、生徒集会が行われました。冒頭で以下のような校長講話をしましたので、その一部を紹介します。

「4月の生徒集会は出張で不在にしていたので、教頭先生にメッセージを託して読み上げてもらいました。さて、どんな話だったか覚えていますか？覚えている人には、なんと！賞金5万円！（生徒どっと沸く）・・・を差し上げたいくらいの気持ちです（生徒どっと笑う）。では、少しグループで振り返ってみましょう。～話し合いの様子を見ると、4月の生徒集会の話を覚えてくれている生徒が多いようでした～ ＜中略＞ 今回の生徒集会では、次の2点について話をさせていただきます。まず、終学活が終わってから部活動開始までの時間が長いことがとても気になっています。1日10分遅れたら2日で20分、3日で30分、4日で40分・・・と他校に遅れをとることになります。特に3年生は、最後の大会である但馬総体が近づいていますので、終学活が終わったらすぐに更衣・準備をして部活動の練習に入るようにすべきです。他校の生徒はとくに練習を始めていますから、グダグダせずにさっさと練習に入りましょう。もう1点ですが、教室の

整理整頓や、部活動時の荷物整理などを励行してほしいと思います。整理整頓ができていない状態は、物がなくなることによつつながるものです。逆に整理整頓ができてると他人が勝手に物を触ってはいけない雰囲気をつくることができます。加えて、鞆の口をきちんと閉めることも大切なことです。鞆の口が開いた状態で放置していると、他人が中を覗き込んだり、触ったりすることを誘発します。それぞれの生徒、学級、部活動で物の整理整頓を励行してください。」

